

令和6年度 事業報告

社会福祉法人 敬愛

1. 今年度の重点目標とその内容

（１）園独自の取り組みを全職員が理解した上でそれぞれの業務を行なう。

今年度も初日（４月１日）の全職員を対象にした職員会議にて、運営規程・危機管理マニュアル・運営方針・保育方針を資料を基に学習し、全職員がそれらを常に意識して日々の業務を行なうよう共通理解した。

継続の職員は毎年聞いているが、初日に行なうことにより認識を新たにし、緊張感を持って業務に当たっている。保護者や見学者等の質問に対しても誰もが同じく答えられるようになった。

また、「働き方改革」の一環で来年度から「ICT」取り入れる予定であるため１月頃より具体的な取り組みをしてきた。

（２）保育園のあり方を理論と実践を通して常に追求する。

０歳児から５歳児までの「計画の連続性」においては、全体的な計画である「保育課程」を編成するとともに、各年齢の「年間指導計画」を照合し連続性を確認した。それを基本に「月の指導計画」を立案し、月１回の職員会議において反省をし、次月に繋げるようにした。「目の前の子どもにとって最善の指導計画」の重要性とそれが保育の質の向上と保育者の資質の向上に繋がることの認識が持てるようになった。次年度も職員同士の緊密な連携のもと意識的に進めていきたい。

また、今年度も園内研修はキャリア４人の副主任保育士を研修委員とし、企画・運営を任せてテーマを決め、自分たちの研修という意識がより一層高まってきている。研修委員を中心に月１回行った。優先順位を考えながら計画的に進めた。一つ一つの事例を真剣に話し合うことにより意欲も高まり、日々の保育に役立てられるようになった。次年度も同様な形式で園内研修を継続し充実させたい。

今年度は、まだ本格的に外部の研修が少なく、園外の研修には参加できなかったが子育て支援課からのオンラインの研修には数名参加できた。

次年度は、研修の形式も変わってくると思うが、出来るだけ参加し保育者の自主性を尊重し、研修を通して意欲を高めたい。

（３）地域の子育ての拠点として、園の人的・物的財産を惜しみなく社会への貢献に役立てる。

年度初めに「子育て支援」の重要性と「育児の拠点としての保育園」の役割を全職員が再確認した。支援室に来た親子に対して、全職員が在園児と同じように受け入れる体制は確立している。

来園して良かったと思える支援を通して、子育て世代の親の利用が増えてくれればと思っている。

（４）年間の予算管理を計画的に行ない、無駄を省くようにする。

光熱水費、消耗品費等の予算額を提示し、前年度と比較しながら無駄は極力省くことを意識化したので、使っていない部屋の消灯等、習慣づいた。

特に今年度は各クラスごとに消耗品の額を割り当て（前期、後期）計画的に必要なものを購入し有意義に活用した。

また、園児による折り紙、セロテープ等の無駄使いも無くなり、物を大切にする気持ちも根づいてきた。描画や制作の欲求を満たすため画用紙の他に、不要なカレンダーや裏面が白

い広告紙、段ボール箱、牛乳パック、ラップの芯等も沢山集めて自由に使わせている。それが描画や制作の材料になったりし、大人が想像できない物が完成し驚かされることもある。次年度も不要な支出の削減に努めたい。

2. 目標をどのように達成するか（年間計画）

上記の報告の通り（１）（２）（３）（４）とも計画に基づいて行なった。

3 施設運営

（１）児童の処遇

①クラス編成表 令和6年度. 3

クラス名	年齢	園児数	保育士数	備 考
たんぽぽ	0歳	6	2	
すみれ	1歳	9	2	
ちゅうりっぷ	2歳	12	2	
ひまわり	3,4,5歳	19	2	
ばら	3,4,5歳	17	1	
びよびよルーム			4	
合 計		63	13	

令和6年度 月別児童数（年齢別）

月 \ 年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4月	4	9	12	12	12	12	61
5月	4	9	12	12	12	12	61
6月	4	9	12	12	12	12	61
7月	5	9	12	12	12	12	62
8月	6	9	12	12	12	12	63
9月	6	9	12	12	12	12	63
10月	6	9	12	12	12	12	63
11月	6	9	12	12	12	12	63
12月	6	9	12	12	12	12	63
1月	6	9	12	12	12	12	63
2月	6	9	12	12	12	12	63
3月	6	9	12	12	12	12	63
4月	2 (2)	9 (3)	10 (2)	12	12	12	58 (7)

（ ）は新入园児

②健康管理

項目	対象	回数	実施月	項目	対象	回数	実施月
健康診断	全園児	年2回	5/13 10/30	身体測定	全園児	月1回	毎月

歯科検診	1歳以上	年1回	9/26	尿検査	3,4,5歳	年1回	9/11
------	------	-----	------	-----	--------	-----	------

③保育

各年齢の年間目標を基に年間計画を立案し、それを月の「ねらい」におおして月の指導計画を立案し実践・反省・評価・修正・実践を繰り返しながら保育を進めた。

実施した行事

No.	年月日	内 容	備 考
1	R6.4.1	進級・入園のつどい	
2	R6.4.18	保育方針説明会、 クラス懇談会	42家族（3歳未満児 20家族） （3歳以上児 22家族）
3	R6.4.26	消火器5本納品される	初田製作所より納入される
4	R6.4.25	避難訓練（地震、火災の合図 を知る）	16:00～16:10
5	R6.5. 2	こどもの日の集い	11:00～11:30
6	R6.5.13	内科健診	12:30～13:00（欠席 8名） 0歳児 2名（6/7 2名 受診済み）、1歳児 2名（6/7 1名 受診済み）、2歳児 2名 4歳児 2名（6/7 2名 受診済み）、
7	R6.5.22	千成幼稚園より見学	9:30～11:30（園長他3名）
8	R6.5.23	内部会計監査	13:30～14:00 出席者（5名） 263+6
9	R6.5.23	幹事監査	17:00～18:00 出席者
10	R6.5.28	避難訓練（地震）	16:45～15:50
11	R6.5.27	第1回 理事会	17:00～18:45
12	R6.5.29	敬愛短大より遊び体験	大野先生、学生 12名来園
13	R6.5.30	歩き遠足	山王公園 3歳以上児 10:00～12:30 おにぎり弁当山王公園に届ける えんフォト カメラマンが来園 9:30～13:30
14	R6.6.5	保育参観	3歳未満児 （8家族） 13名
15	R6.6.9	一時保育の件で保育課来園	課より加納氏、黒田氏来園
16	R&6.7	内科健診未受診者受診	5名 受診（未受診者 3名）
19	R6.6.10	じゃがいも掘り	11:30～ 収穫 6.3 kg
17	R6.6.10	選任・解任委員会	15:30～15:45 出席者（4（5名）
18	R6.6.11	保育参観	3歳以上児 （30家族） 49名
19	R6.6.12	敬愛短大 遊び体験	大野先生、学生 12名来園
20	R6.6.1 ～ 6.21	個人面談週間	17:00～18:0
21	R6.6.20	さつま芋の苗植え	150本
22	R6.6.25	避難訓練（火災）	10:20～10:30
23	R6.6.26	歯科健診	9:00～9:45（未受診者 4名）

24	R6.6.26	評議委員会	17:00～18:00 出席者 5名
25	R6.7.3	敬愛短大 ボランティア	9:00～12:00 学生 2名
26	R6.7.4	避難訓練（地震）	12:12～12:20
27	R6.7.5	七夕の集い	11:00～11:30
28	R6.7.10	プール設置	
29	R&7.23	四街道北高校 保育実習	学生 3名 先生 1名 9:30～11:30
30	R6.7.24	四街道北高校 保育実習	学生 5名 先生 1名 9:30～11:30
31	R6.7.24	巡回相談	平岡臨床心理士、伊藤氏 9:30～12:30
32	R6.7.25	四街道北高校 保育実習	学生 6名 先生 1名 9:30～11:30
33	R6.7.30	成田北高校 ふれあい体験	学生 6名 8:30～16:00 11:00～教頭先生、14:00～佐久間先生
34	R6.7.30	第2回理事会書面会議	
35	R6.8.1 ～ 2	敬愛短大 ボランティア	学生 4名 9:00～12:00
36	R6.8.6	敬短 オープンキャンパス 「保育者のたまご講座」	高校性 22名 10:00～12:00 付き添い 吉村先生、佐久間先生
37	R6.8.7 ～ 8	敬愛短大 ボランティア	学生 3名 9:00～12:00
38	R6.8.14	業務執行報告書	理事に郵送
39	R6.8.19	四街道北高校 実習	学生 2名、9:00～16:00 付き添い 1名
40	R6.8.20	//	学生 3名 //
41	R6.8.21	//	学生 3名 //
42	R6.8.22	//	学生 4名 //
43	R6.8.23	//	学生 5名 //
44	R6.8.25	日本ビルコン エアコン修理	業者 2名 8:00～12:00
45	R6.8.26	加曾利幼稚園園長 都賀の台幼稚園園長 来園	能勢先生 11:00～13:00 桜井先生
46	R6.8.27	避難訓練（地震）	14:45～12:12:55
47	R6.8.9.2 ～ 13日	敬愛短大実習生	学生 1名
48	R6.9.2	総合訓練	10:05～10:20
49	R6.9.11	尿検査郵送	児童 30名（6名分 9.19 郵送）
50	R6.10.4	尿検査結果通知届く	
51	R6.10.10	避難訓練（消防署立ち合い）	10:00～10:30（神門 4名来園）
52	R6.10.11	内部監査	9:00～16:00 学生 2名 先生 2名来園来園
53	R6.10.16 ～ 30	裏庭の通路	トラストより工事に着工・終了
54	R6.10.25	運動会	9:30～11:30

			保護者参加 ・ちゅりっぷ 24 名 (48 家族) ・ひまわり 38 名 97 名 ・ばら 35 名
55	R6.10.30	内科健診	12:30～13:00 (3名欠席)
56	R6.11.7	バス遠足 (千葉市動物公園)	9:30～14:30 児童員 35 名 職員 5 名
57	R6.11.19	交通安全教室	10:00～11:00 警察官 3 名来園
58	R6.11.21	山王小学校よりわたしのま ちはっけん	10:20～10:40 私の町はっけん 2 年生 10 名 引率者 2 名
59	R6.11.26	避難訓練 (地震)	16:35～16:45
60	R6.11.27	内科健診	未受診者 (5 名) 伊藤クリニック
61	R6.12.18	お楽しみ会	10:00～11:00
62	R6.12.24	四街道北高校 (吹奏楽部演奏会)	11:15～11:45 (学生、7 名、先生 3 名、校長 1 名)
63	R6.12.26	避難訓練 (火災)	
64	R7.1.14	敬愛短大実習生	1 名 14 日～31 日
65	R7.1.24	内部経理監査	13:30～14:00 芦川氏、秦先生 理事長。園長。事務長
66	R7.1.28	ICT システム会議	秦先生、人見先生、成島先生、豊田先生
67	R7.1.29	第三者委員 星氏来園	保護者アンケート集計をお願いする
68	R7.1.31	実習生反省会	13:30～14:30
69	R7.2.19・20	敬愛短大実習生	1 名
70	R7.3.3	敬愛短大実習生	1 名 3/3～3/24
71	R7. 3. 5	敬短酒井先生来園	10:00 方 11:15 パネルシアター上演
72	R7.3.6	お別れ遠足	9:30～14:50 千葉市動物公園 年長児 12 名、秦先生、豊田先生、佐野先生
73	R7.3.14	お別れ会	10:00 から
74	R7.3.14	理事会	17:00～18:00
75	R7.3.18	敬愛短大実習生巡回	酒井先生 11:00～11:30
76	R7.3.19	第 12 回卒園式	10:30～11:00
77	R7.3.21	設備点検	15:00～16:00 ハツタテクノ 3 名来園
78	R7.3.21	避難訓練 (延長保育)	17:50～18:00
79	R7.3.25	避難訓練 (不審者侵入)	11:00～11:15
80	R7.3.26	避難訓練 (洪水)	10:00～10:30
81	R7.3.26	評議委員会	15:00～16:30 (10 名)
82	R7.3.27	歯科健診	未受診者 (4 名)

④栄養管理

計画に基づいて実施した。

⑤安全管理

計画に基づいて実施した。

⑥食育計画

計画に基づいて実施した。

(2) 職員の処遇

①職員の構成 R7.4.1

職 種	人数	職種	人数
園 長	1	栄養士	1
主任保育士	1	調理員	4
保育士	22	事務長	1
保育士補助	3	理事長	1
幼稚園教諭	2	嘱託医	2

計38名

②健康管理

- ・職員健康診断…全員実施
- ・腸内細菌検査…実施

③各種会議

- ・計画通りに実施した。

③研修

- ・研修計画通りに実施した。

4.施設管理

(1) 施設設備

①園舎…月 1 回点検を実施し必要に応じて修繕をした。

②園庭・固定遊具・倉庫…毎日点検を実施し、危険箇所は直ぐに修繕した。

③ごみ集積所から信号機までの間のフェンス沿いに子どもたちの安全のための歩道を作る。また、裏庭と歩道の間のガードレール沿いにもフェンスを取り付け安全に遊ぶことができるようになった。

(2) 災害対策

①避難訓練（地震・火災）…月 1 回実施した。

（洪水・不審者侵入）各年 1 回実施した。

洪水時の避難訓練…洪水時の円滑かつ迅速な非難の確保

（ハザードマップの洪水警戒区域にはいているため）

- ・避難先は、山王小学校なので予め小学校と連携を取り、「子どもたちの命を守る」ために、年 1 回は山王小学校まで避難する。（R7.3.25 実施）

②防火設備の点検委託…計画通り実施した。（年 2 回）

③非常食の備蓄…防災訓練に非常食をおやつに出し、子どもの反応を見た。味もよくなったせいか、よく食べていた。

5.地域との連携

- ・近隣の住民との交流は、散歩時に子どもも保育者も積極的に挨拶をしたり、また、フェンスの外からお芋ほりや苗植え時や遊んでいる様子など見てくれる人にも挨拶をしたり言葉を交わしていた。

6.子育て支援活動への取り組み

(1) 子育て支援

年間計画通り実施した。子供の成長の相談だけではなく、母親自身の悩みの相談もあり、母親の精神状態が子育てに大きく影響しているのがわかる。よく話を聞き、母親の精神の安定を図って、子育てにつなげるようにした。

子育て支援室に来ることを楽しみにしている様子も見られた。

9月からは職員の都合でぴよぴよルームをしめることになり、ホームページや掲示などで地域の方々にお知らせした。

また、ここ数年「子育て支援室の利用者が少ないため、課より「一時保育をしてほしい」との要請があった。来年度は準備期間とするが、職員体制により 可能か否か子育て支援課と相談することにする。

※支援室の月別利用人数は下記の通り。

〔月別利用表〕

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開設日数	22	21	21	22	21	12							119
利用組数	17	17	15	22	10	2							83
利用人数	34	35	31	46	20	5							171
育児相談件数	2	2	0	5	2	0							11

(2) 小・中・高・短大との連携

職場体験、施設見学、遊びの体験、保育実習等すべて受け入れた。

子どもへの理解につながったとそれぞれ感想を聞かせてくれた。

(3) 子育てサークル支援

育児サークル等への保育士派遣は需要がなかった。子育て支援事業が整備され、それによって需要を満たしているのかもしれない。

PRは今後も続けていきたい。